

議 事 録

会議の名称	令和4年度 第3回 富士見市男女共同参画社会確立協議会
開催日時	令和5年2月8日(水) 10:00 ~ 12:00
開催場所	市役所 分館 3階会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・猪俣由美子会長、長ヶ原美博副会長、藁谷浩一委員、出谷吉章委員、田村久仁子委員、羽石貴裕委員、森田信子委員、神保文子委員、大澤啓矢委員 ・事務局 人権・市民相談課 皆川課長、豊田主査
欠席者	田中郁代委員、武田圭介委員、黒須専門員
会議次第	<p>議 事</p> <p>(1) 令和3年度年次報告について</p> <p>(2) その他</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度版男女共同参画の推進に関する年次報告書 ・富士見市男女共同参画プラン(第4次)概要版 ・富士見市男女共同参画プラン(第4次)
公開・非公開	公開(傍聴者 0人)

あいさつ

- ・人権・市民相談課長
- ・会長挨拶

議事

(1) 令和3年度進捗報告について

事務局…男女共同参画プラン（第4次）概要版及び令和3年度版男女共同参画の推進に関する年次報告書に基づき説明。

（意見交換）

会 長…令和元年度の男女共同参画市民意識調査の回収率は45.2%と高く、市民の関心があるようだ。

委 員…DV 被害者支援の中で、避難する女性について以前は50～60代が多かったが、最近は SNS の普及もあり、若い人が増えてきた。安易な考えを持つ人も多く、変わってきたと感じている。

委 員…企業経営者の中でも男女共同参画の意識は変わってきているが、トイシなど含め、整備はまだだと感じる。建設業も女性が増え、事務専門ではなく現場にも参画しているが、50代以上の女性が多い。建設業全体として20～30代の若手の就職率が著しく低い。男女共同参画の視点で研修等を進めても、従事者そのものが増えていない中、どう改善したら良いかと考えている。他の経営者も男女かわらずキャリアを優先しているが、女子学生のほうで、工業系・理工系など男子比率の多い大学で学ぶことをためらうというのもあるようである。

会 長…教育の中で、将来のキャリアプランを学べると良い。

委 員…取組No.73 と 74 について。No.73「性別にとらわれることのない職員配置や業務分担に配慮する」について、取り組みと成果が「職員の能力や適性に応じて配置・業務分担を行っている」とある。“性別にとらわれることのない”という言葉を使うと、一見配慮をしているように聞こえるが、（例えば）男性ばかりの職場において、職員配置や分担が“能力や適性で決めた”結果、男性になっただけだということ言い訳もできてしまうのでは。

委 員…男女格差があるという前提を踏まえれば、具体的数値を決めることも必要では。

委 員…機会の平等は大事である。管理職になりたがらない女性の友人がいた。女性の意識の問題もある。

委 員…取組No.75 の待機児童について、学童の待機児童はどうなっているか。

事務局…取組No.77 のとおり、待機児童ゼロに取り組んでいる。

委 員…女性の社会進出はだいぶ進んできているが、大工などの成り手はいないようだ。若い人の職業意識も変わり、すぐにお金になることを選ぶ人も増えている様子。

委 員…取組No.94 の男性の地域活動の促進であるが、もっと男性向けの事業をやってほしいと思う。

委 員…地域の公民館では、男の料理教室やパソコン教室など、男性も多く参加している。

会 長…仕事をリタイヤした男性が、地域に踏み出せるような環境があると良い。

事務局…男性向けの事業もやっているが、幅広い対象へ事業をやっている。

委 員…商工会へいろいろな相談がある中で、育休に関して、男性も取得するとなると人

手が足りず、子育てが終わった人を採用してしまうということが多々ある。社会の変化に対し、どこまで指導できるか悩むところである。

会 長…社会はそういう方向で動いている。“業務効率”に手をつけないと、いつまでもこの現状は放置されてしまう。

委 員…人が集まらない時代。若い人の仕事への考え方も変わり、新規開業ではアパートの一室を使用し、実店舗を持たない人も増えてきた。

委 員…市は多種多様な取り組みをしている。他の計画の審議会では厳しい指摘もあったが、非難するばかりでなく、取り組みへの頑張りを認め、市民も自分たちで広めていくことも大事である。

会 長…少子化対策が叫ばれる中、男性も女性も働きやすくしていくことが重要である。

委 員…男性の地域へのつながりの箇所の表現が気になる。

委 員…各課の取り組みを聞いて、事業の背景にはこういう目標があったのだと気付かされた。きめが細かいと思った。

委 員…一人ひとりが幸せに暮らすことが大切な目的で、人生100年時代、男女問わず健康で長生きするための技術力を幼い頃から積み上げていく必要があるだろう。

(2) その他

事務局…昨年度まで確立協議会で協議していただいたパートナーシップ制度は、おかげさまで順調に運用されている。今後も広く周知を続けていく。

4 その他

(1) 来年度の会議日程について

事務局…来年度は3回の会議を予定。1回目は6～7月頃、2回目は8～9月頃の予定で、2回に渡り令和4年度のプラン進捗状況確認を行う。3回目は年明け2月頃を予定。あらためて連絡をする。

閉 会 副会長

終了時間 12:00